

1/24 食堂のお米がすべて雪中米に 札幌市役所地下食堂で雪中米フェアを開催

沼田町中山間地域等直接支払制度推進協議会が札幌市役所地下食堂で雪中米フェアを開催しました。

1月17日から31日までの毎週水曜日に開催され、地下食堂で提供されるすべてのお米に雪中米が使用されました。

また、完熟トマトケチャップを使用した限定お弁当の販売や、食堂内で雪中米の販売を行いました。

雪中米を食べた食堂の利用者は「初めて食べたけど美味しかった」と話され、雪中米をお買い上げくださいました。



1/25 深川東高校の生徒が 「沼田町の活性化」についてプレゼン

深川東高校の生徒が1月25日（木）ふれあいすこやかホールにて「沼田町の活性化」をテーマとしてプレゼンテーションを行いました。

このプレゼンは、令和5年12月9日に開催された「高校生ビジネスプランコンテスト」にて、奨励賞を受賞され、沼田町の魅力とアクティビティツアーを掛け合わせ、町内の方のお宅に泊まりながら、夜高あんどん祭りへの参加やほたる鑑賞などを行う「沼田丸ごと体験！アクティビティツアー」の提案を受けました。



1/29 いじめやネットトラブルの根絶を目指して 「絆づくりメッセージコンクール」表彰

青少年からいじめやネットトラブルの根絶を目指し、より良い人間関係づくりを呼びかける「絆づくりメッセージコンクール」の表彰が1月29日（月）沼田中学校（里館幹彦校長）で行われました。

表彰は、空知管内ポスター部門で中学2年生の川嶋惺南さんが最優秀賞、1年生の長田彩李さんが奨励賞を受賞され空知教育局教育支援課 竹見純課長から表彰状が授与されました。



2 / 自分好みにトッピング

3 親子クッキング「クレープを作ろう！」

就学前の子どもの遊び場提供・子育て家庭同士仲間づくりや相談を目的とした子育て交流広場「えがお」で2月3日（土）親子クッキング「クレープを作ろう！」が開催されました。

町内に住む子ども7名が保護者の方と参加され、クレープの生地を生クリームやチョコレートソース、果物など、自分好みにトッピングして、完成したクレープを満足げに頬張っていました。



2 / 減農薬を心がけて安心安全な野菜作りを

5 「わが村は美しく」で愛菜ママが奨励賞

北海道開発局が農山漁村の活性化をもたらした団体を表彰する「わが村は美しく - 北海道」運動第11回コンクールにおいて、「沼田町産直グループ愛菜ママ」(植木千鶴代表)が奨励賞に選ばれました。

愛菜ママは、1996年に町内の女性農業者が集まり結成した団体で、減農薬を心がけて安心安全な農産物の直売や町産の米と大豆を使った手作り「愛菜みそ」の販売、消費者が生産者を身近に感じてもらえるような工夫をしていることなどが魅力を高める交流活動として評価されました。

植木代表は「これからも農業の楽しさややりがいを伝えていきたい」と話されていました。



2 / 毎年ありがとうございます

6 JA北いぶき女性部沼田支部より雑巾寄贈

JA北いぶき女性部沼田支部(生田ユカリ支部長)から2月6日(火)雑巾を寄贈いただきました。

雑巾は毎年寄贈いただいているもので、生田支部長のほか役員4名が役場を訪れ、雑巾を横山町長へ手渡されました。

雑巾を受け取った横山町長は「ありがとうございます。大切に使用させていただきます」と感謝の意を伝えました。



2 / 快晴の中、冬のスポーツを楽しむ！ 11 第74回町民スキー大会

第74回町民スキー大会が2月11日（日）ASHIMOI KANKO 高穂スキー場で開催されました。

開会式で伊藤淳大会長は「素晴らしい天気の中で1日活動できる。スキーを通じて北海道の冬のスポーツ、生涯スポーツとして雪に親しんでほしい」と話されました。

大回転競技（スキー、スノーボード）には町内外50人が参加し、日頃の練習の成果を発揮し午後からはスキー・スノーボードの無料レッスンやN-linkによる雪上スポーツ大会などが行われ、様々な形でウィンタースポーツを楽しみました。



2 / みんなで楽しく1日と一緒に過ごす 12 親子でたっぷり ふれあいすごそう！！

子育てサロン「親子でたっぷり ふれあいすごそう！！」（ぬま-link主催）が2月12日（月）健康福祉総合センターふれあいで開催され、子育て世代の親子5組14名が参加されました。

開会にあたり、沼本代表から「久々の開催ですが、楽しい時間を過ごしてリフレッシュしてもらえたら」と話されました。

その後、親子で一緒にクッキーづくりからはじまり、子どもとスタッフでボールなどを使った遊びを行い、親は昼食のオムライスづくりをしました。

昼食の後は、午前中に作ったクッキーを食べたり、参加された親子はのんびりと1日を過ごされました。



2 / スマホの操作方法などを学びました 13 スマホ教室

町が主催するスマホ教室を2月13日（月）、14日（火）の2日間開催し、19名が参加されました。

今回のスマホ教室は携帯ショップの方を講師にお招きし、スマートフォンの電源の入れ方やアプリのダウンロード、LINEの送信方法などの基本的な操作方法や実際に写真を撮影してみるなど丁寧に説明していただきました。

参加された方は、「説明が分かりやすかった」と話され、スマホ操作に手応えを感じられていました。



2 / 認知症って？

14 小学校認知症サポーター養成講座

認知症の知識や接し方などについて勉強する認知症サポーター養成講座を沼田小学校(吉田純一校長)5、6年生を対象に行いました。

授業は映像を見ながら、認知症の方の心理状況や接し方などについて勉強した後、クイズ形式で映像の内容をおさらいしていきました。授業後、児童たちは「認知症の方が困っていたら、思いやりの気持ちを忘れず、声をかけようと思いました」など感想を述べられました。



2 / 北海道で1カ所目

16 コンタクトレンズ空ケース回収の協定締結

コンタクトレンズの製造、販売やコンタクトレンズ専門販売店「アイシティ」を全国に展開するHOYA(ホーヤ)株式会社アイケアカンパニーとコンタクトレンズの空ケース回収に関する協定を2月16日(金)締結しました。

使い捨てコンタクトレンズの空ケースは、ほぼすべての商品がリサイクルに適している素材で作られており、同社が2010年から回収活動を始められ、道内自治体初となる協定を締結しました。

締結式で竹中彰カンパニープレジデントは「今回の協定でさらにアイシティ eco プロジェクトが全国に広がり、よりリサイクルされていくことを願っています。」と挨拶され、横山町長は「ゼロカーボンシティを目指し、今回の協定を契機に色々な取組を進めていきたいと思っています。」と話されました。

沼田町では沼田中学校(里館幹彦校長)が以前から空ケース回収を行っており、沼田中学校生徒会から今まで集めてきた空ケースを竹中氏に手渡されました。



2 / 観光につながる新しい資源を開発

19 北海学園成果発表会 (着地型観光)

包括連携協定を結んでいる北海学園大学の学生が、新たな資源開発のために8月と11月に沼田町を訪れ、実際に見て、聞いて、様々な体験をしてきた結果を2月19日(月)町民の方向けに発表会を行いました。

発表は4班に分かれて行われ、雪を利用した新たなイベントやトマトを利用した「トマトまつり」など、実際に訪れて体験したことを基に様々な視点から沼田町の観光に繋がる新たな資源を提案していただきました。



2 / より良い議会運営のために 22 議員研修会

北海道町村議会議長会参与 勢旗了三氏を講師としてお招きし、沼田町議会議員の議員研修会を2月22日（木）行われました。

第1部の「議会運営の諸課題」では、疑問に思っている点や議会の円滑な運営について、事例を参考に講義を受け、第2部では、「一般質問のあり方」について一般質問の定義から、上手な質問で意識する箇所などについて、お話いただきました。



2 / 第5回全日本（笑） 23 オールドスタイルスキー技術交流会

1980年～90年代の用具や当時のスキーウェアを着てスキーを楽しむ第5回全日本（笑）オールドスタイルスキー技術交流会が2月23日（金）ASHIMOI KANKO 高穂スキー場で開催されました。

札幌や小樽など道内各地からスキー愛好家34名が参加し、昔ながらの細く真っすぐなスキー板と当時、流行ったスキーウェアを身にまとい、ウェーデルンやシュテムターンなどの技術を使って、当時は思い出しながら楽しく滑っていました。



2 / 来て、感じる沼田町の魅力 28 沼田町視察ツアー

産業振興と雇用の場の創出を行う企業誘致の一環として企業側に実際に沼田町を訪れてもらい、沼田町を直接感じてもらう「沼田町視察ツアー」を2月28日（水）から3月1日（金）の3日間の行程で開催し、道外から5企業が参加されました。

参加企業の皆様は、暮らしの安心センターなどの施設見学のほか自然学校でアクティビティ体験や町内企業を訪問するなど実際に沼田町の魅力に触れていただき、企業進出に向けたイメージを深めていただきました。



3 / 目標に向かって頑張っ！ 8 中学3年生への町長講話・卒業記念半纏贈呈

沼田中学校（里館幹彦校長）3年生に、3月8日（金）横山町長から卒業記念として夜高あんどん祭りの藍染の半纏とそれぞれの名前が彫られた木札が贈呈されました。

半纏贈呈前の講話では、「新たな環境になり、色々な経験をしていく中で、辛い時はふるさと”沼田町”を思い出して、家族、地域の方々が応援してくれていることを感じてください。今の時間を大切に、元気で明るい社会をこれから一緒に作れることを願っています」と生徒たちに伝えました。



3 / 火災予防の推進へ

9 「防火標語」コンクール表彰式

火災予防の一環として沼田消防が主催する「防火標語」コンクールの表彰式が3月9日（土）行われました。

これは5年に1度、沼田町内に在住する方々を対象に、家庭や職場において防火について考える機会を持っていただき、防火意識の高揚、普及啓発を図ることを目的に行われており、187作品の応募の中から、6作品が受賞され、沼田中学校1年生の伊藤李紗さんの『火の用心「後で」と「今で」変わる未来』が最優秀賞に選ばれ、消防車庫に掲示されました。

受賞された伊藤さんは「自分でもこの標語を思い出しながら、防火の意識を持ち続けたいです」と話されていました。



株式会社まちづくりぬまたのオンラインショップがオープンしました！

株式会社まちづくりぬまたのオンラインショップが今年2月にオープンしました！沼田町自慢の特産品をスマートフォンやパソコンでお気軽にご購入いただけますので、大切な方への贈り物などにとても便利にご利用いただけます。ただいまOPEN記念で送料無料キャンペーン実施中です！

今後、町内の農産加工品やお菓子などの商品をラインナップに加えるなど、サイトの利便性向上と内容の充実を進めてまいりますので、皆様のご利用心よりお持ちしております。



まちづくりぬまた 北海道沼田町

検索



沼田町監査委員より定期監査の報告

去る、2月7日から9日までの3日間、沼田町監査委員による、沼田町の令和5年度会計（4月1日～12月31日まで）の定期監査を行いました。

これは、地方自治法第199条の規定より、町の事務・事業の執行状況とともに町のお金が住民のために最小限の経費で最大の効果を上げるよう効率的に使われているかを監査したものです。

監査の結果、事業の執行及び財務事務等全般については、適正に執行されていると認め、報告いたします。

沼田町代表監査委員 中村 保夫
沼田町監査委員 長野 時敏